

平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493300014	事業の開始年月日	平成18年4月1日	
		指定年月日	平成18年4月1日	
法人名	有限会社 水車の里			
事業所名	グループホーム 水車の里			
所在地	(226-0017) 神奈川県横浜市緑区新治町 1 1 0 1 - 2			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成21年12月31日	評価結果 市町村受理日	平成22年5月14日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493300014&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑多い恵まれた環境の中、入居者様の「その人らしさ」を大切に考え、日々ケアに努めています。また、安心・安全な生活が出来るよう、病院・クリニック・訪問看護ステーション・歯科医院と連携を図り、看取りケアへの対応もおこなっております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾞ ｽﾌﾞﾌﾞ 3階		
訪問調査日	平成22年2月2日	評価機関 評価決定日	平成22年4月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】</p> <p>1. 当施設は、自然環境に恵まれた場所にあります。 交通の便も比較的良好な場所にあり、市民公園や畑など緑に囲まれた自然が豊かな恵まれた環境にあります。 入居者は明るく広々とした共用空間で、穏やかに暮らしています。</p> <p>2. 職員間の連携が良好で、質の高いサービスを提供しています。 管理者を中心にスタッフ同士がなんでも気楽に相談し、話し合いができる働きやすい職場を構築しています。 スタッフは入居者一人ひとりに合った「その人らしさ」を大切にサービスを提供しています。</p> <p>【事業所の工夫している点】</p> <p>1. 各種マニュアルを独自に作成しています。 職員の倫理規定をはじめとするマニュアル類を管理者が中心になって事業所独自の実践的なマニュアルを作成しています。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 水車の里
ユニット名	

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>開設三周年を迎え管理者・職員にて新しい理念を構築致しました。新理念では入居者様のその人らしさを大切に考えたものに「地域福祉の充実に貢献できるホーム作り」を新たな目標として加えています。</p>	<p>入居者一人ひとりの「その人らしさ」と地域密着型施設を念頭に、職員が会議などで意見を出し合い、理念を改定しました。玄関などの見やすいところに理念を掲示し、会議では常に理念を確認し合い共有化を図っています。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>日常の散歩などでは積極的に声をかけ挨拶をし地域住民の方々との交流に努めています。又、地域の朝市や自治会の夏祭り・餅つき等の行事にも積極的に参加させて頂いています。</p>	<p>立地の関係から、行政区域とは異なる自治会と交流をしています。入居者は、日々の散歩や買い物および自治会の祭りなどの行事、地域商店街が開催する朝市などに参加して地域との交流を深めています。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域の包括支援センター等にご協力を頂き、地域住民を対象に認知症キャラバンメイトである管理者が認知症サポーター講座などの開催をおこなっています。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>自治会・ご家族・包括支援センター等にて構成されたメンバー皆様より貴重なご意見を頂いております。ホームでは皆様のご意見を真摯に受け止めサービスの向上に努めています。</p>	<p>家族、行政区域および日常交流している自治会、民生委員、地域包括センターなどの参加を得て、昨年6月と、12月に運営推進会議を開催しています。ここでの意見を運営に反映させようと努力しています。</p>	
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>横浜市又は緑区での集まりには積極的に参加しています。また、認知症介護実践者研修の受け入れやキャラバンメイトとしての活動を通じて情報交換を行いサービスの向上に取り組んでいます。</p>	<p>区の担当者とは、その都度連絡を取り合っています。年に数回開催される緑区、青葉区のブロック連絡会に参加し、意見交換をしています。市の実践研修生の受け入れも行っています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関については日中施錠しておりません。一階、二階の行き来についてもエレベーター又は階段を利用し自由に交流が行われています。玄関外のベンチは皆様の交流の場となっております。</p>	<p>夜間防犯上での施錠をしている時以外は、利用者は自由に玄関を出入りできます。過去に、車イスで座位が保てない方には家族の同意を得て、イスにベルトでサポートしたことがありましたが、症状が回復し現在は行っていません。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>入職時の新人研修でも虐待や拘束について学ぶ機会を設けています。又、関連ポスターを貼付したりカンファレンスなどで取り上げ、虐待防止の徹底に努めています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会などを利用し各種制度について学ぶ機会を設けています。また、必要な入居者様へは実際に制度利用に対する支援を行っています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>初回面談より不安や疑問点については十分確認・説明を行い、不安の解消に努めています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご入居の際は重要事項説明書にて苦情窓口の案内を行っています。又、ご入居後はご家族様 ホームとの交換連絡ノートにてご意見・要望等を伺っています。</p>	<p>入居者個人別に事務所に保管してある家族との「交換連絡ノート」を訪問時に家族に渡し、要望や意見を記入して頂き、それらをケアプラン作成時に参考としています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営に関してはカンファレンスなどで報告を行い、職員の意見や提案が反映されるホーム作りに努めています。	月に1回開催の全職員会議と、2回開かれる常勤職員の会議の場で職員の意見や提案が反映されています。例えば、春に行った認知症の勉強会をもう一度開いて欲しいとの要望を受けて秋に再度実施しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的に職員がどのような状態にあるのか確認を行い、必要に応じ助言や支援を行っています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修後は職員一人ひとりのスキルに合わせ、外部研修や勉強会などを開催し、学びの機会を作っています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	各職員のスキルに合わせ、グループホーム交換研修や各種外部研修へ参加する機会をつくりサービスの向上に取り組んでいます。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談ではご本人が安心して話せるよう、ご希望に応じご自宅へ訪問し面談をおこなっています。又、入居前よりセンター方式を利用しご本人の思いを記録に残し入居後のケアに繋げています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談には十分時間をかけ、ご本人やご家族の本当に求めていることや不安を理解した上で必要な援助、助言を行っています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他サービス事業所と連携を図ることで、相談者の状況に応じたサービスへ繋げられるよう取り組んでおります。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念にも掲げています「その人らしさ」を大切に考え、その方の得意なことが発揮できる場面作りに努めています。又、人生の大先輩である入居者様から学ぶことは大変多いです。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	「共に支え、築くグループホーム」をキャッチコピーに行事開催時などは準備から片付けまで参加頂き、共に支えあう関係作りに努めています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話や手紙などを利用し、馴染みの人との交流が継続できるよう支援しています。また、ケアプランにて馴染みの場所への外出などもおこなっています。	馴染みの方へ手紙を出している人や、個人の携帯電話や事務所の電話を利用して電話をする方の支援をしています。以前暮らしていたアパートや利用していたスーパー銭湯など一周する支援もしています。馴染みの方々の訪問を歓迎しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様一人ひとりの「その人らしさ」を全職員が理解することで必要な支援が提供できています。又オープンな環境の為、他ユニットの方とも気軽に交流を図って頂いております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホーム便りを送付したり、利用サービス事業所と連携を図ることで退居後も必要な支援が提供できるよう努めています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前面談よりセンター方式を活用し一人ひとりの希望やご意向の把握に努め「その人らしさ」を大切にされたケアの提供に取り組んでいます。	入居前から利用者や家族などとの面談からその人の生活歴や、趣味、特技の把握に努めています。24時間の感情の変化を1週間記録し、また、職員は日々の生活の中での表情や仕草などからその人の思いや意向を把握するように努めています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式をご家族様にも記入頂くことで入居者様一人ひとりの生活歴の把握に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録や申し送りにて現状の把握・情報の共有に努めています。また状態に変化が見られた場合には「情報提供書」が作成され回覧されます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	概ね三ヶ月ごとにケアプランの見直しを行っています。プラン作成時には全職員にてモニタリングを実施。職員の意見とご家族に伺ったご意向を反映し、ケアプランを作成しています。	3ヶ月ごとに行われるケアプランの見直しには、全職員のモニタリングを実施しています。例えば、「何かやりたいことがある」と伺う「活動支援」や、バスによる外出などの「楽しみ支援」を行っています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録（生活記録）へは、その日のご様子の他、ケアプラン実施の有無を記入しています。これらの記録をモニタリング時に活用し次のケアプラン作成に反映させています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に入居者様やご家族様の状況を把握し柔軟な対応に努めています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日頃より地域交流に努め、地域資源等の情報収集に努めています。また当ホームでは「地域福祉の充実に貢献できるホーム作り」を目標とし当ホームが地域資源となれるよう取り組んでおります。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホーム主治医はもちろんの事、入居以前からのかかりつけ医とも連携し継続した健康管理に努めています。	従来からのかかりつけ医への定期受診には、家族に付き添い受診を依頼しています。この場合は医療連携表に記入をお願いし、ホーム主治医との連携を図っています。家族の対応が困難な場合は職員が代わりに支援を行うこともあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週一回の訪問看護では日常の気づき等を報告・相談し、入居者様が適切な医療を受けられるよう努めています。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時にはサマリを作成する他、担当医師・看護師とも面談を行い、情報の交換に努めています。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	早期より主治医・ご家族と話し合いの機会を設け、十分説明を行っています。実際に現在までに2名の方の看取りケアの実績があります。	入居時に重度化した場合の方針を説明し、面談記録を保管しています。家族、主治医、看護師、ホーム長が参加したムンテラで今後の方針を話し合い共有化を図っています。	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変時、事故発生時等の対応方法についてはすべてマニュアル化されています。また、定期的にカンファレンス等を利用し全職員にて確認を行っています。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年に二回、避難訓練を開催しています。訓練の際には地域の消防署にも参加頂きご意見・助言を頂いています。	消防署指導の下に年2回避難訓練を実施しています。1階、2階共にベランダに非難して消防の救助を待つよう指導されています。スプリンクラーを準備中で、年度内に設置完了を予定しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マナー研修やカンファレンスなどを利用し、適切な言葉掛けや対応が出来るよう学びの場を設け、適切な支援提供に努めています。	職員に対する入浴、トイレの介助時の言葉のかけ方や、態度に関するマナー研修は実地で指導しています。個人情報保護に関しては、個人情報保護方針など個人情報に係る事項を玄関ホールに掲示し、職員等への徹底を図っています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアプランによる外出支援実施の際には外出先をご自身に決めて頂くなど、自己決定の場面作りに努めています。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースやその時の思いを大切に考え支援しています。たまには自室で食事を摂ったり、入居者様のペースを大切にしている為、食事終了時刻を決めず対応しています。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の身だしなみはもちろんの事、メイク、ネイルなど・・好みに応じたおしゃれを楽しんで頂けるよ支援しています。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の状態に合わせ準備を行い、食事形態等についても各入居者様ごとに対応を行っています。又、バーベキューやランチバイキングなどの開催もあり入居者様の楽しみの一つとなっています。	食材は、専門業者から毎日配送されています。栄養バランスは管理栄養士によってチェックしています。月に1度特別食の日を設け、フランス料理やカニ料理、ラーメンなど個別の支援を行っています。行事食で恵方巻きなどの計画をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一日の食事量・飲水量については全て記録し、状態の把握に努めています。食が進まない方には調理法や食事形態を変え対応したり習慣となっている晩酌を楽しまれている入居者様もいらっしゃいます。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後は入居者様の状態に合わせて口腔ケアを実施しています。「声かけ」「一部介助」「全介助」など必要な支援を提供。また、希望者には提携歯科医による口腔管理が行われています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用し、各入居者様の排泄リズムを把握することで入居者様の状態に合った支援を行っています。</p>	<p>排泄状況を記録して、自立に向けた支援をしており、入居後に状態が改善された事例もあります。必要な場合には夜間2時間ごとにおむつ交換を行い、清潔で、気持ちのよい生活を送れるように、きめ細かい配慮をしています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>内服薬のみに頼らず、牛乳の摂取や運動、マッサージなど個々に応じた対応を心がけています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>午後を中心に入浴を行っていますが必要に応じ臨機応変に対応しています。また、菖蒲湯やゆず湯、入浴剤なども使用し入浴を楽しんで頂けるよう努めています。</p>	<p>入居者の思いを優先していますが、風呂が嫌いな人にも、週に2回は入ってもらっています。1日に2度の体温測定や「入浴実施状況確認表」で、体調をチェックしており、また歩行が困難な入居者には、2人介助をしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご自身のペースで生活できるよう支援しています。また、ご自身の思いを伝えることが出来ない入居者様についても身体の状態に合わせ休息を取り入れ安楽な生活を支援できるよう努めています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	使用している薬については薬剤師より説明を受け、全職員が分かるよう毎日の生活記録と共に綴じてあります。また服薬の変更、追加時には情報提供書にて回覧し情報の共有に努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の「その人らしさ」を大切にしたい支援提供に努めています。積極的に家事参加される人、外出・外食を楽しむとする人、晩酌される人等・・・個別支援に努めています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日にはご本人と相談し積極的に散歩へ出かけています。又、希望に応じ外食やカラオケ、ピクニック等へ出かけたり、昔の住宅地巡りなども支援しています。	入居者の要望にそった外出を心がけており、1対1で本人に付き添って、希望の場所に出かけることもあります。「外出状況記録」に散歩、日光浴、買い物、受診など、各自の行動を記入して、状態を把握しています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人・ご家族と相談後、希望に応じてご自身にて金銭の所持をされています。又、ご自身のお小遣いでの買い物等、支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や友人の方と文通をされたり、携帯電話の使用にて家族や友人の方との交流が継続して行われています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには季節感のある小物を飾ったり、行事開催時の写真を展示しています。またトイレドアには大きく表示をつける等、混乱防止の為の工夫を行っています。	居間からは「新治市民の森」という自然公園を見渡すことができます。居間、廊下、トイレなどの共用部分は、広めに設計され、入居者や訪問者に満足感を与えます。毎月華道の先生が見えて、季節の花を飾っています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆さんで過ごすリビングとお一人で過ごす居室の他、ローカに椅子を置き少人数で過ごすスペースや事務所をオープンにする事で様々な状況に合わせた環境づくりをおこなっています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には使い慣れた家具の利用をお勧めしています。各居室はご本人が居心地よく生活できるよう、仏壇や冷蔵庫など入居者様一人ひとりの生活に必要なものが置かれています。	居室には、冷蔵庫、テレビ、タンス、仏壇などの私物を持ち込んでおり、なじみの環境で、生活できるような配慮がされています。ふとんは各自が持参しています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・トイレ等、場所の混乱を未然に防止する為、目印を貼付しています。また、日めくりカレンダーにその日の予定を貼付しその日の予定を確認出来るようにするなどの工夫をしています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	入居者様一人一人のニーズに対応する為の制度やサービス、環境資源について理解できない為、柔軟な支援が出来ないことがある。	さまざまな制度やサービスについて理解することでその時々生まれるニーズに対し柔軟に対応できるようになる。	・現状の把握 ・勉強会の開催	6ヶ月
2	13	職員により知識・技術に格差が見られ統一されたケアが出来ないことがある。	再度、職員を育てる取り組みを見直し、全職員参加にてケアの質の向上を目指す。	・各スタッフの現状把握。 ・意見交換会、勉強会、実地指導の実施 ・必要な研修、トレーニング(外部)への参加。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。